# 圧縮アーカイブの作成

**■アーカイブファイルを圧縮する**

アーカイブファイルを圧縮するにはいくつかの方法がありますが、単純には「tar -cvf」コマンドで作成したアーカイブをgzipコマンドもしくはbzip2コマンドで圧縮します。

　次にbzip2コマンドを使用して、アーカイブファイル「archivefile.tar」を圧縮する例を示します。

|  |
| --- |
| [ec2-user@ip-172-31-8-35 ~]$ bzip2 archivefile.tar　←bzip2形式に圧縮  [ec2-user@ip-172-31-8-35 ~]$ ls –l ←lsコマンドで確認  -rw-rw-r--1 ec2-user ec2-user 159 Nov 25 07:38 archivefile.tar.bz2  ↑圧縮アーカイブ |

**■圧縮アーカイブの中身を見る**

gunzipコマンドやbunzip2コマンドで一旦解凍してから「tar -tvf」コマンドで表示しても構いませんが、その場合、アーカイブファイルが作成されてしまいます。単に中身を確認したいという場合もあります。2つのコマンドを組み合わせれば、その心配はいりません。

例えば、bzip2の圧縮アーカイブの一覧を見るには下記のように指定します。

|  |
| --- |
| [ec2-user@ip-172-31-8-35 ~]$ bunzip2 -kc archivefile.tar.bz2 | tar -tvf -  drwxrwxr-x ec2-user/ec2-user 0 2020-12-03 02:45 file1/  -rw-rw-r-- ec2-user/ec2-user 6 2020-12-03 02:45 file1/file.txt  drwxrwxr-x ec2-user/ec2-user 0 2020-12-03 02:46 file2/  -rw-rw-r-- ec2-user/ec2-user 6 2020-12-03 02:46 file2/file2 |

ここで、bunzip2コマンドの「-k」は元のファイルをそのまま残すオプション、「-c」は結果を標準出力に書き出すオプションです。また、tarコマンドでファイルの指定に「-」を使うと、標準入力から受けるようになります。

**■圧縮アーカイブを展開する**

圧縮アーカイブを展開する場合にもパイプを使えば一度にできます。例えば「archivefile.tar.bz2」をカレントディレクトリに展開するには下記のように指定します。

|  |
| --- |
| [ec2-user@ip-172-31-8-35 ~]$ bunzip2 -c archivefile.tar.bz2 | tar -xvf -  file1/  file1/file.txt  file2/  file2/file2  [ec2-user@ip-172-31-8-35 ~]$ ls –l  -rw-rw-r-- 1 ec2-user ec2-user 194 Dec 7 00:40 archivefile.tar.bz2  drwxrwxr-x 2 ec2-user ec2-user 4096 Dec 3 02:45 file1  drwxrwxr-x 2 ec2-user ec2-user 4096 Dec 3 02:46 file2 |